

【 国産飼料 】

1 開催期日 令和7年12月9日（火）～12月12日（金） 4日間

2 講義日程

月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
12月9日 （火）	13:10 ～13:30	開講式
	13:30 ～15:00	飼料作物の栽培技術～牧草～ 農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究領域 省力肉牛生産グループ 上級研究員 北川 美弥
	15:15 ～16:45	公共牧場の運営改善技術について 株式会社希興 代表取締役 三宅 英彰 (浦幌町模範牧場協定管理者)
12月10日 （水）	8:45 ～10:15	TMRセンターの現状と課題及び展開方向 酪農学園大学名誉教授 荒木 和秋
	10:30 ～12:00	自給飼料の加工調整技術 農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究領域 飼料生産利用グループ 上級研究員 遠野 雅徳
	13:00 ～14:00	飼料作物の品種 農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究領域
	14:05 ～15:05	飼料作物育種グループ 上級研究員 田村 健一
	15:20 ～16:50	飼料生産関係の農業機械 農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究領域 飼料生産利用グループ 上級研究員 住田 憲俊
12月11日 （木）	8:45 ～10:00	飼料をめぐる情勢 畜産局 飼料課 飼料増産振興班 課長補佐 野中 陽子
	10:15 ～11:45	飼料作物の栽培技術～国産濃厚飼料について～ 国立大学法人山形大学 農学部附属やまがたフィールド科学センター エコ農業部門 教授 浦川 修司
	13:00 ～17:00	総合討論 「地域や現場が抱える国産飼料増産の課題とその解決に向けて」 国立大学法人山形大学 農学部附属やまがたフィールド科学センター エコ農業部門 教授 浦川 修司 三重県畜産研究所 大家畜研究課 主幹研究員 兼 課長 山本 泰也 畜産局 飼料課 飼料増産振興班 課長補佐 野中 陽子
12月12日 （金）	8:45 ～ 9:45	飼料作物の栽培技術
	9:50 ～10:50	～飼料用とうもろこし、長大作物と水田を活用した飼料生産～ 農研機構 畜産研究部門 研究推進部 研究推進室 飼料連携調整役 須永 義人
	10:50 ～11:05	閉講式

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

※講師所属について「農研機構」と記載あるものは「国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構」の通称です

3 開催場所（宿泊等の問合せ先）

独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設

住 所 〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1

T E L 0 2 4 8 - 2 5 - 7 0 6 0

F A X 0 2 4 8 - 2 5 - 6 7 5 5

4 受講対象者の範囲

国、地方公共団体、畜産関係団体、農協等生産者団体等又は耕種作物関係団体の職員で当該分野に配属されて原則 5 年以内の者、農業に従事する者

5 受講者数 40 名程度

6 受講者の留意事項

- (1) 受講者は、宿泊等については研修開始 10 日前までに中央畜産研修施設へ直接申し込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡すること。

- (2) 研修施設への入所は、研修初日の 9 時 00 分～12 時 00 分までに行うこと。

なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等への訪問は避けること。

- (3) 受講者は、共済組合員証（健康保険証）、筆記用具、寝間着等を持参すること。

- (4) 受講生は、総合討論※（12 月 11 日（木）実施）に関して、発言用資料（A4 判タテ 1 枚程度）の作成等事前準備をしておくこと。

具体的には、受講者決定通知時に別途連絡する。

※総合討論について

（目的）受講者が担当する地域や業務で抱えている課題を解決するための情報収集をねらいとして実施します。

（方法）全体討議方式にて、各受講者が事前提出資料等に基づいて説明を行い、受講者及び助言者と意見交換を行います。

（その他）各受講生の事前提出資料は、受講者全員に配布します。

本研修に関する問合せ先

農林水産省畜産局総務課調整班 宮本

TEL 03-6744-0568（ダイヤルイン）